

第3回三大学シンポジウム

オセアニアの物質文化・民族造形——通称今泉コレクションを中心に

開催要項

1. 趣旨

2009年に故今泉隆平氏収集のオセアニア民族造形資料が、もとの所蔵者である埼玉県鶴ヶ島市より、天理大学、早稲田大学、そして本学に寄贈された。3大学では、これを機にオセアニアの物質文化に関する研究を深めるため、過去2年にわたって各大学でシンポジウムを開催し、議論の場を作ってきた。今年度は、南山大学にてそれを開催するものである。

今回は、3大学を一巡した最後にあたるため、ある意味で総括的な議論を期待しながら、タイトルも「オセアニアの物質文化・民族造形」としてみた。通称今泉コレクションから垣間見えるオセアニアの物質文化は非常に多様性に富んでいる。われわれはそうした多様性の中から文化や社会の動向を読み取る方法論を模索しなければならない。

本シンポジウムが、そのための一助になることを願う次第である。

2. 日時 2014年3月15日(土)

3. 場所 南山大学名古屋キャンパスR棟 R49教室

4. スケジュール

10:00 開会

趣旨説明 黒沢浩(南山大学)

10:05 基調講演 オセアニアの物質文化—南山大学人類学博物館と沖縄海洋文化館のカヌー資料を中心に 後藤明(南山大学)

11:00 休憩

11:10 報告1 パラオ共和国の伝統的カヌーを追う—沖縄海洋博公園海洋文化館所蔵資料・コトラオルを事例に—

如法寺慶大(南山大学)

11:40 報告2 フィジーの棍棒について 竹尾美里(中京大学)

12:10 昼休み

13:00 報告3 イアツムル族の移動戦略と社会 高橋龍三郎(早稲田大学)

13:30 報告4 実用品ではない財貨としての石斧 吉田裕彦(天理参考館)

14:00 報告5 民族誌・民族資料から見た土器の用途・分布論 中門亮太(早稲田大学)

14:30 報告6 板根を利用した民族造形 早坂文吉(天理参考館)

15:00 休憩/博物館見学

15:30 質疑応答 進行: 黒沢

15:45 討議 進行: 黒沢

17:00 終了

5. 開催主体

主催: 南山大学人類学博物館 共催: 南山大学人類学研究所

6. 予算等

発表者旅費・謝金(博物館と研究所で折半)

ポスター、チラシ、当日資料等印刷費(博物館)

発表者昼食代(研究所) など